

大会における「撮影(写真・動画等制限)について(検印)

競技者が安心して競技に集中できる環境づくりと、競技者の人権保護の観点から、競技場エリアでの巡回・警備を強化し、撮影が可能な人・撮影制限等を設けました。保護者の皆様、大会関係者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

***選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください**

撮影は、スマホ、タブレットであれば、許可書の必要はありません。

ビデオカメラ、デジタルカメラ、一眼レフカメラなどでの撮影する場合には許可証が必要になります。

***競技会中に下記に該当するか確認する場合があります。ご協力ください。**

- (1) 大会運営本部より許可された報道関係者・調査研究者・事務局等（要申請）…ビブス、審判証等着用
- (2) 大会出場の学校、実業団、チームの関係者、保護者、家族等…TICへ申し出る

***撮影方法等…禁止区域が設けられている場合はそれに従ってください。**

- (1) 上記(1)に該当する人が撮影する場合の詳細は、大会本部（報道係）にて確認してください。

(2) 上記(2)に該当する人の撮影は、観客席（スタンド）からすることとし、次の撮影制限等を遵守願います。

- ① トラック種目のスタート時、準備動作中…前方、後方は撮影不可
 - ② 走高跳…正面（クリアランス動作）からの撮影は不可
 - ③ 砲丸投…競技者正面からの撮影は不可
 - ④ 棒高跳、走幅跳、三段跳…マット及び砂場後方は撮影不可
- (3) フラッシュ撮影や赤外線撮影装置での撮影、及びドローン撮影は禁止
 - (4) スタート時は静寂を保つためシャッター音が鳴らぬようご注意ください。
 - (5) 三脚や自撮り棒を使用するの撮影は、他の観客の迷惑になる場合があるのでご遠慮ください。
 - (6) 競技と無関係の目的で撮影、身体の一部をアップした撮影、透過撮影、その他の迷惑行為はおやめください。

- (7) 競技場内で撮影した全ての画像・動画は、大会運営本部に確認させていただく場合があります。

- (8) 撮影した画像・動画の販売及び営利目的の利用は禁止します。（無断アップロードもおやめください。）

